

埼玉医科大学(前期) 英語

2023年 1月31日実施

1

- 問 1. ① 問 2. ③ 問 3. ① 問 4. ④ 問 5. ④
問 6. ③ 問 7. ② 問 8. ① 問 9. ① 問 10. ④

<講評>

文法・語法に関連した適語補充問題。昨年度までは B パートとして語句整序問題が出題されていたが、本年度は 10 問ともすべて適語補充の 4 択問題であった。問 5 などは正答率が低いことが予想され、昨年度に比べるとやや難化か。しかし基本的なレベルのものが大半であることには変わりなく、7 問以上の正解を目指したい。

2

- 問 1. ③ 問 2. ① 問 3. ① 問 4. ② 問 5. ③
問 6. ④ 問 7. ① 問 8. ②

<講評>

COVID-19 のパンデミックによる行動制限が、ティーンエイジャーの精神的健康へもたらす影響について論じた英文。論説文と会話文の融合問題のような形態をとっているが、実際には“According to the passage”/“According to the dialogue” と別々の問いが設置されているのみで、両方を同時に参照しなければならない問いは特にない。テーマも身近なものであり取り組みやすかったであろう。

3

- 問 1. ③ 問 2. ① 問 3. ④ 問 4. ② 問 5. ③
問 6. ① 問 7. ③ 問 8. ①

<講評>

相貌失認（顔を見て個人の識別をすることができなくなる障害の一種）について述べた英文。やや医学寄りの内容ではあるが、具体例を交えながら分かりやすく論じた文章であり、問いも素直で取り組みやすい。

4

- 問 1. ③ 問 2. ① 問 3. ① 問 4. ② 問 5. ④
 問 6. ③ 問 7. ④

<講評>

潜在的な利己性を秘めた人間が、いかにして協力行動をとるのかについて論じた英文。埼玉医科の大問 4 は、年度によっては自然科学の分野からかけ離れたテーマの文章が出るがあるが、本年度はそこまで難儀するテーマではなかつたろう。ソ連のアフガニスタン侵攻への言及がある文章を選んでいる点に時事性が感じられる。

5

- 問 1. ② 問 2. ③ 問 3. ① 問 4. ② 問 5. ③
 問 6. ③ 問 7. ④ 問 8. ④

<講評>

ある一人の患者に対する胃のバイパス手術の記録を、それに携わった研修医の立場から随筆形式で綴った英文。例年通り、大問 5 が最も分量の多い長文、なおかつ 4 本の中で最も医学寄りの内容であった。専門用語には適宜注が付されているものの、手術場面の描写などはレベルの高い語も多く出現し、医系長文にどれだけ慣れ親しんできたかが読解の鍵となったであろう。しかし例年の傾向通り、仮にそれらの語が読めなくても、設問自体を解くにあたりはあまり差し支えるものではないため、細部でいちいち立ち止まらず全体の論旨を掴む方にウェイトを置くことが求められる。

【総評】

昨年度と同じく、文法 1 題＋長文 4 題から成る 5 題構成であった。大問 1 の語句整序問題が消滅した点が唯一の変化。制限時間に比して文章量は多めである一方、細部の読解を求めよう問題は相対的に少なめである。パラグラフごとの論旨を意識しつつ、スピーディーに読み進められたかがポイントとなったであろう。一次通過には 70%程度の得点が望まれる。

本解答速報の内容に関するお問合せは


医学部専門予備校
YMS
 heart of medicine
 ☎ 03-3370-0410 <https://yms.ne.jp/>
 東京都渋谷区代々木1-37-14

医学部進学予備校 **メビオ** ☎.0120-146-156
<https://www.mebio.co.jp/>
 医学部専門予備校
英進館メビオ 福岡校 ☎.0120-192-215
<https://www.mebio-eishinkan.com/>

メルマガ登録または LINE 友だち追加で全科目を閲覧

メルマガ登録



LINE 登録

